

# 2023年3月期 第2四半期決算説明資料

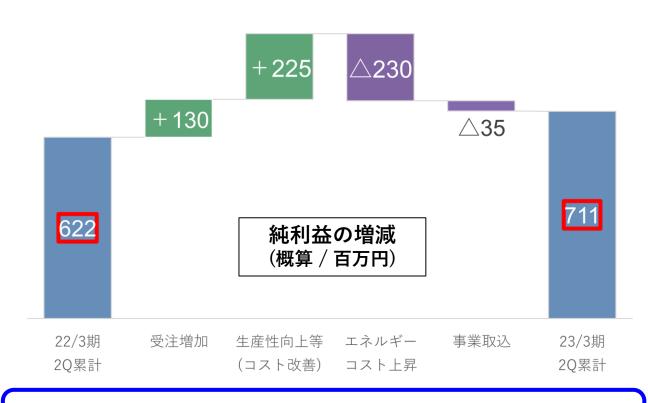
- 1 2023年3月期 第2四半期決算概要
- 2 2023年3月期 通期業績予想(変更なし)
- 3 参考資料

2022年11月2日 ジャパンフーズ株式会社 (証券コード 2599 東証スタンダード市場)

### 2023年3月期 第2四半期決算概要

単位:百万円	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減
製造数(千ケース)	21,519	22,645	+1,126
営業利益	724	832	+108
経常利益	827	970	+143
連結純利益	622	711	+89

単位:百万円	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	増減
JF単体 (コア)	485	608	+123
事業取込利益等	137	103	△34
ジャパンフーズ連結	622	711	+89



- 1Qで新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の余波があったものの、2Q好調により、2Q累計では前年同期を上回る受注
- 生産性向上によるコスト改善が進捗するも、期初想定以上 のエネルギーコスト上昇
- 事業取込利益は、中国事業の新ライン増設に伴うコスト 増加により前年同期比減少も、計画通りに推移

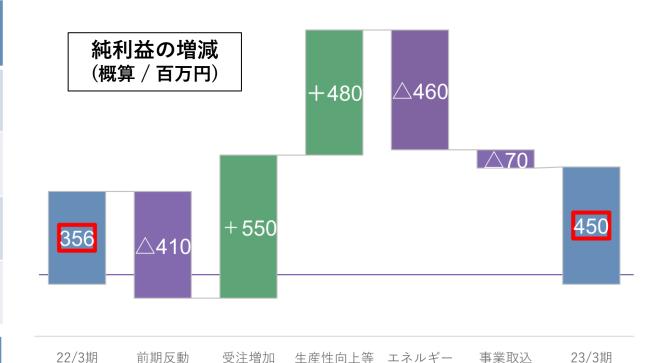
事業取込

#### 通期業績予想(5/13公表 変更なし) 2023年3月期

単位:百万円	22/3期 実 績	23/3期 計 画	増減
製造数(千ケース)	36,404	41,500	+ 5,096
営業利益	△387	400	+787
経常利益	△171	550	+ 721
連結純利益	356	450	+94

2

連結純利益	356	450	+ 94
単位:百万円	22/3期 実績	23/3期 計 画	増減
JF単体 (コア)	107	270	+163
事業取込利益等	249	180	△69
ジャパンフーズ連結	356	450	+94



■ 前期一過性利益の反動はあるが、新製品及び新たな販売 領域の受注を積極的に行うとともに、製造スペースの 最大活用により受注増加

(コスト改善) コスト上昇

- 生産性向上が更に進捗し、エネルギーコスト上昇の影響 を緩和
- 事業取込利益は前年同期比減少も、計画比堅調に推移

単位:百万円	22/3期 2Q累計	23/3期 2Q累計	23/3期 5/13公表
営業CF	2,282	719	1,600
投資CF	△715	△226	△600
フリーCF(連結)	1,567	493	1,000
連結純利益	622	711	450
配当金	10円	10円	27円

#### 「大型設備投資一覧」

13/3期	ペット無菌充填(E)51億円
14/3期	ペット充填入替 (T) 27億円
18/3期	ぺットボトル(F)65億円
21/3期	SOT缶 (G) 等 73億円

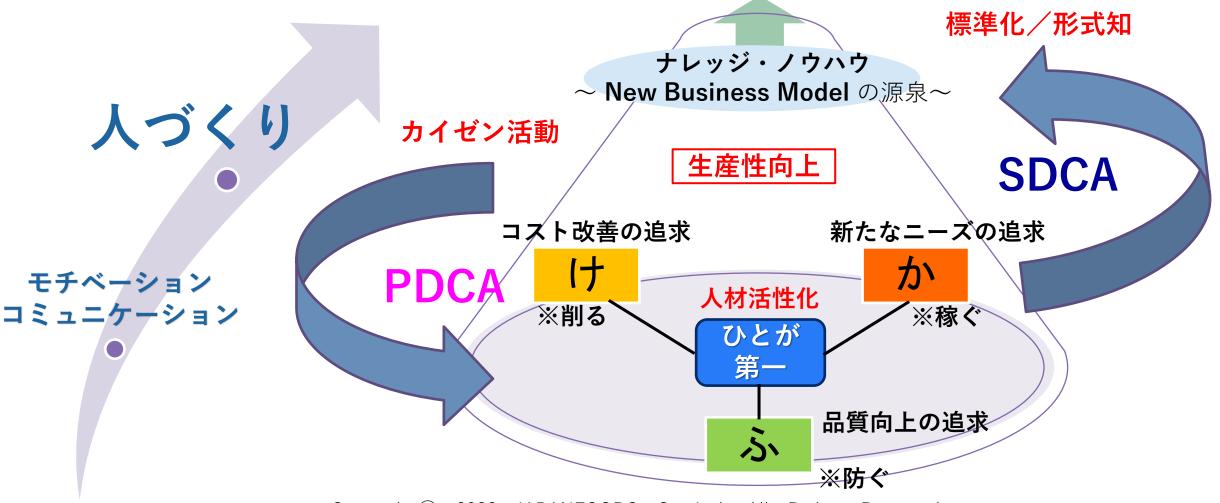
- 売上債権の増加に加え、前年同期の消費税還付の反動によるキャッシュ・フローの減少があったものの、引き続き安定したキャッシュを確保
- 既存設備(上記、大型設備投資)の最大活用により投資を厳選
- 資金使途に応じた資金確保
- 中間配当(10円) 11/2決議済、年間配当予想(27円)を継続

4

品質経営ーふけかの進化ー

## 企業理念・経営ビジョン

中期・短期 経営計画



### 品質経営-ふけかの進化-

#### 製品・サービス

- 安全・安心な製品の安定供給
- 顧客の品質評価の向上
- マーケットイン志向による新たなニーズ対応
- ものづくりのノウハウを活用した提案力の強化

ふ:防ぐ

か:稼ぐ

### 2つの品質を重点強化

#### 業務プロセス

- 人材教育と改善活動の活性化
- 設備総合効率の追求
- 環境負荷の低減
- 予防保全の徹底によるトラブル防止
- 生産・物流の効率化によるコスト改善
- 仕事の断捨離による業務効率化
- デジタル化の推進

ふ:防ぐ

け:削る

か:稼ぐ